

# 働くもののいのちと健康

季刊

オンライン  
読者サロン

月イチ企画

## 政策・制度要求2025

開催日：毎月最終水曜日(1回目を除く) 18:30~20:00

開催方法：Zoomによるオンライン

いの健全国センターは、約1年間を検討の経て昨年12月の総会で、9つの大きなテーマで構成する「政策・制度要求2025」を決定しました。季刊誌No.106(2026.2 冬季号)では、「政策・制度要求2025」の内容を理解し易くするために、各テーマに関連するコラムや解説を入れました。月イチの読者サロンで、9つのテーマについて理解を深めるための学習・交流を進めます。参加費無料!興味のあるテーマの回だけでもご参加頂けます。

第1回

4/30 (Thu) 18:30~

第1 長時間・過密労働の根絶、労働時間の短縮と安定した良質な雇用の確保で、過労死をなくし、ディーセント・ワークを実現すること

ごあいさつ

～スウェーデンでの生活経験にふれて～

働くもののいのちと健康を守る全国センター  
理事長 埜田和史 さん

ミニ学習

睡眠・生活時間から考える労働時間 (仮)

石川城北病院  
医師 松浦健伸 さん

参加を希望される方は、右側のQRコードから申し込んでください。(QRコードをクリックでもOK)メールアドレスに参加Zoom情報を各回開催日の前日までに送付いたします。季刊誌「いの健」No.106(2026.2 冬季号)をご準備ください。参加申込フォームからも注文できます。



主催・問合せ  
いのちと健康を守る全国センター  
TEL: 03-5842-5601  
Mail: info@inoken.gr.jp

4  
30  
Thu

**第1 長時間・過密労働の根絶、労働時間の短縮と安定した良質な雇用の確保で、過労死をなくし、ディーセント・ワークの実現すること**

5  
27  
Wed

**第2 あらゆるハラスメントと差別をなくし、ジェンダー平等を進めること**

日本のジェンダーギャップ指数はG7で最下位。ILO190号条約も批准していません。ハラスメントに関する相談も後を絶ちません。今、何が必要となっているのか。実態を出し合いながら考えます。

6  
24  
Wed

**第3 メンタルヘルスに関する総合的な対策を行うこと**

働く現場でストレスやハラスメントによる労働負担が増加しています。「もうしんどい」「身近にメンタル不全の方がいる」「相談を受けている」こんなことはありませんか？いきいきと働き、生活するために、職場でのメンタルヘルス対策について交流します。

7  
29  
Wed

**第4 実効性ある労働安全衛生体制を確立すること**

多様な働き方が広がっています。すべての働く人々のいのちと健康を守るために実効性ある安全衛生対策と体制強化が重要です。職場の安全衛生委員会の活用や労働行政の状況などについて語り合います。

8  
26  
Wed

**第5 労働災害、公務災害の労災補償制度を改善すること**

多くの方が労働災害に被災しています。被災労働者が安心して治療に専念でき、職場（社会）復帰できるための補償制度とは？業務上外の判断や消滅時効、給付のあり方などについて考えます。

9  
30  
Wed

**第6 職業病の予防と完全な補償を行うこと**  
**第7 労災などの認定基準を改善すること**

アスベスト・じん肺、振動障害、腰痛、化学物質による健康障害など予防と健康管理、治療と補償が一体的となった職業病対策と労働者の立場に立った認定のあり方について、経験を含めて交流します。

10  
28  
Wed

**第8 新興・再興感染症、重大災害発生時の労働者等の安全・健康確保を図ること**

新型コロナ禍や相次ぐ大規模地震、自然災害は日本社会に大きな影響を与えました。平時からの対策、新興・再興感染症や重大災害発生時の対策強化について考えます。

11  
25  
Wed

**第9 学校教育にワークルールをカリキュラムとして位置付けること**

多くの方が「働くルール」「労働者の権利」「労働組合」などに関する知識が不十分なまま社会に出る状況となっています。労働行政や学校現場、法曹界などのとりくみを交流します。